

## 日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)による 『赤ちゃん防災プロジェクト』発足

災害時の乳幼児の命を守るため、母乳代替食品(粉ミルク※1、液体ミルク※2)の備蓄、提供を推進

管理栄養士・栄養士の職能団体である公益社団法人 日本栄養士会(代表理事会長:中村丁次 会員数:約5万人)災害支援チーム(JDA-DAT)は、災害時の乳幼児支援を目的とした『赤ちゃん防災プロジェクト～JAPAN PROTECT BABY IN DISASTER PROJECT～』を発足しました。

2012年からの被災地での支援活動で見てきた課題のひとつは、要配慮者である乳幼児への支援です。災害時の乳幼児の栄養確保と保護の観点から、授乳婦や乳児に対する避難所の環境整備および母乳代替食品(粉ミルク※1・液体ミルク※2)の備蓄、提供について、日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)が主体となり、関係機関・団体等との連携のもと、推進してまいります。

また、本プロジェクトに賛同いただき、災害時の乳幼児支援に向けた取り組み『文京区 プロテクトベビーコンソーシアム』を開始する文京区(区長:成澤廣修)への支援を開始します。

### ■プロジェクト概要

#### 【名称】

赤ちゃん防災プロジェクト～JAPAN PROTECT BABY IN DISASTER PROJECT～

#### 【主体(事務局)】

日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)

#### 【特別協力】

特定非営利活動法人 日本防災士会

#### 【後援】

内閣府政策統括官(防災担当)、厚生労働省、農林水産省、総務省消防庁(申請中)、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本産婦人科医会、一般社団法人日本周産期・新生児医学会、公益社団法人日本小児科医会、公益社団法人日本小児科学会、一般社団法人日本小児救急医学会、公益社団法人日本小児保健協会、一般社団法人日本新生児成育医学会(申請中)、公益社団法人日本母性衛生学会、一般社団法人日本乳業協会

#### 【取り組み内容】

##### (1)ガイドラインの作成・配布

液体ミルク※2に関するガイドラインの作成および周知、「災害時に乳幼児を守るための栄養ハンドブック(仮)」を作成し、自治体等を通じた周知や配布を行います。

##### (2)母乳代替食品(粉ミルク※1・液体ミルク※2)の備蓄推進、災害発生時の搬送と提供

平時の各地域における災害対策活動において、母乳代替食品(粉ミルク※1・液体ミルク※2)の備蓄推奨を行います。また、災害発生時には特殊栄養食品ステーションを通じた搬送や提供を行います。

##### (3)災害時の乳幼児の栄養・食支援に向けた地域防災活動の支援

特定非営利活動法人日本防災士会と連携し、地域の防災計画における備蓄推奨や、研修会実施等の地域防災活動の支援を行います。

※1:乳児用調製粉乳 ※2:乳児用調製液状乳

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人 日本栄養士会 企画広報室

TEL:03-5425-6555 FAX:03-5425-6554 E-mail:kikaku-koho@dietitian.or.jp

## ■公益社団法人 日本栄養士会とは

公益社団法人 日本栄養士会は管理栄養士・栄養士約 5 万人により組織された職能団体です。適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むことを通じて、人びとの食環境の整備を推進するとともに、健康づくりに貢献する管理栄養士・栄養士の資質の向上を図るための生涯教育、地位・身分の向上や、さらに国際貢献なども行っています。

- ・名 称:公益社団法人 日本栄養士会
- ・代表理事会長:中村丁次
- ・所 在 地:〒105-0004 東京都港区新橋 5-13-5 新橋 MCVビル 6 階
- ・会 員 数:50,006 人(2018 年 3 月末)
- ・ホームページ:<https://www.dietitian.or.jp/>

## ■JDA-DAT(日本栄養士会災害支援チーム)とは

公益社団法人 日本栄養士会では東日本大震災の教訓をいかして JDA-DAT(日本栄養士会災害支援チーム)を 2012 年に設立しました。

国内外で大規模な自然災害が発生した場合、被災地内の医療・福祉・行政栄養部門と迅速に協力して、緊急栄養補給物資の支援など、状況に応じた栄養・食生活支援活動を通じ、被災地支援を行うことを目的としています。

日本栄養士会災害支援チーム(The Japan Dietetic Association -Disaster Assistance Team)の頭文字をとって JDA-DAT(ジェーディーエーダット)と呼びます。

JDA-DAT は災害発生地域において栄養に関する支援活動ができる専門的トレーニングを受けており、全国で 2,704 人が活動しています。(2018 年 11 月 16 日時点)



## ■災害派遣の仕組みとこれまでの活動

JDA-DAT(日本栄養士会災害支援チーム)は非被災地の都道府県栄養士 JDA-DAT は、自ら、あるいは出動の要請<sup>※3</sup>を受けて、速やかに支援活動に入ります。

情報収集に基づく緊急栄養補給物資の支援、医療救護班等への帯同、防衛省への協力、避難所巡回搬送(栄養相談、物資搬送等)、母乳代替食品や食物アレルギー対応食品、高齢者用やわかか食など特殊栄養食品ステーションの設置等の活動を行います。

これまでに、平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害、熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年北海道胆振東部地震で活動を行いました。

※3 出動の要請者:公益社団法人 日本栄養士会、国(厚生労働省)、被災都道府県知事・被災地災害対策本部など。



【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人 日本栄養士会 企画広報室

TEL:03-5425-6555 FAX:03-5425-6554 E-mail:kikaku-koho@dietitian.or.jp